

1 ボランティアセンター

明治学院大学ボランティアセンターは、1995年に発生した阪神・淡路大震災の支援活動に関わった学生・教職員の声をきっかけに、本学の教育理念である「Do for Others」（他者への貢献）の精神に則り、20年を超える歴史を刻んでいます。活動内容はHPに詳しく掲載されていますが、私たちは、その中でも「1Day for Others」に着目しました。1Day for Othersの参加者は、“企業も地域コミュニティの一員であり、地域に貢献する大きな力を持っていることがわかった”など、高い満足度を誇っています。

白金キャンパス



2 キャリアセンター

キャリアセンターでは、男女平等の就職支援によって社会で活躍できる基盤作りを行っています。質の高い教育や支援により働きがいを見出しやすくしており、長期的に見れば経済成長に寄与することを可能としています。キャリアセンターの具体的な取り組み内容は、就職ガイダンス、ハベンエアーインクラス、選考段階別各種講座開催、インターンシップや本選考等の就活体験記、模擬面接やESの添削等の支援、企業説明会等のイベント開催などがあります。

全 ゴミの分別

白金キャンパスでは、紙やビン・缶・ペットボトルなどの廃棄されるものを再利用しています。2020年には廃棄物の再利用率は73.7%にのびました。また、雨水の利用、照明のLED化や節電タイプの空調設備や節水型トイレへの更新を行いました。さらに、ごみ削減の取り組みの一環として、クリスマスツリーとして使ったモミの木を廃棄せずに山へ埋め戻すなどの試みも行っています。

※キャンパス全体

4 国際センター

国際センターではSDGsの趣旨に則り、世界各地で国際貢献に携わる国際機関やNPO、NGOなどにおいてインターンシップを行う国際貢献インターンシップを実施しています。派遣期間は秋学期の1学期間（約3～5ヶ月）です。

国際ボランティア計画「United Nations Volunteers (UNV)と国内8大学が連携して実施する「国連ユースボランティアプログラム (UNYV)」と、各受け入れ期間と本学が直接提携する協定に基づくプログラムです。

また、SDGsフィールドスタディーズというプログラムも実施しており、実際の体験や現地の方々との交流を中心とし、SDGsを実感することができま。事前研修では参加学生のグループワークを通じ、親交と学びを深めることを目的としています。ベトナムのダナン大学や現地の企業への訪問、海外で話題になっている観光業や環境問題、格差や貧困問題などSDGsについて深く考えることのできる絶好の機会となります。

5 食堂

白金キャンパスでは食器や箸、コップなどはプラスチック製のものを利用し、洗い使い回すことで資源ゴミが増える問題を解決しています。また、コロナ禍においては利用者が少なく、利用人数が読めないことから、メニューを制限し、さらには利用者数を少なめに見積もり計算しています。また、形が悪い食材など、店頭には出さず廃棄になってしまうことがあります。明治学院大学カフェテリアではそのような食材を積極的に利用することでフードロスをなくす取り組みを行っています。

3 図書館

図書館のコンセプトは「書商のような図書館」で、1993年に完成しました。キャンパスの中心に図書館を置くことで研究室や教室へのHUBといった役割を果たしています。また、図書館には多くのサービスがあります。1つは、レファレンスサービスです。このサービスでは、レポートや卒論を書くための資料の探し方がわからないときなど各種相談を受け付けてくれます。2つ目に、ショートセミナーがあります。このセミナーでは20分で就活や論文に役立つ情報収集の仕方を身につけることができるセミナーです。白金図書館で毎日実施しており、オンラインでの受講も可能となっています。

6 ボランティアグッズ

「明治学院大学ボランティアファンド支援グッズ」は、教育理念「Do for Others」を実現するために、大学公式グッズの購入という形を通じて社会に貢献する仕組みで販売しています。グッズを購入すると本体価格の10%（※一部の商品は5%）が「明治学院大学ボランティアファンド」に積み立てられ、ボランティアセンターが企画する活動の支援（ボランティアファンド学生チャレンジ賞、学生ボランティアの旅費等）に活用されます。ボールペンやシャープペン、消しゴムをはじめとする文具や、ポストカードなどの雑貨を販売しています。



マグカップ ¥629 (税込)



フリクションボール ¥204 (税込)



1 学生用 2 学生用 3 学生用